

▶14日 日曜

マタイ

13:31 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、13:32 どんな種よりも小さいですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」

13:33 イエスは、また別のたとえを話された。「天の御国は、パン種のようなものです。女が、パン種を取って、三サntonの粉の中に入れると、全体がふくらんで来ます。」

13:34 イエスは、これらのことのみならず、たとえで群衆に話され、たとえを使わずに何もお話しにならなかった。

13:35 それは、預言者を通して言われた事が成就するためであった。「わたしはたとえ話をもって口を開き、世の初めから隠されていてことどもを物語ろう。」

13:36 それから、イエスは群衆と別れて家にはいられた。すると、弟子たちがみもとに来て、「畑の毒麦のたとえを説明してください。」と言った。

13:37 イエスは答えてこう言われた。「良い種を蒔く者は人の子です。」

13:38 畑はこの世界のこと、良い種とは御国の子どもたち、毒麦とは悪い者の子どもたちのことです。

13:39 毒麦を蒔いた敵は悪魔であり、収穫とはこの世の終わりのことです。そして、刈り手とは御使いたちのことです。

13:40 ですから、毒麦が集められて火で焼かれるように、この世の終わりにもそのようになります。



Bible Reference
聖書の記述

13:41 人の子はその御使いたちを遣わします。彼らは、つまずきを与える者や不法を行なう者たちをみな、御国から取り集めて、

13:42 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歎きしりするのです。

13:43 そのとき、正しい者たちは、天の父の御国で太陽のように輝きます。耳のある者は聞きなさい。

神の国、すなわち神様が支配されるということは、どんな小さく見えることからでも偉大なみわざが行われるということです。からしだねやパン種のような小さなものでも、神様にあっては大きな可能性があるのです。重要なことは、「天の御国」と言えるほどに、神様の権威があらわされているかどうかです。

神様をあがめ、神様の栄光を表し、神様の権威を認め、神様に王座を明け渡しましょう。それがすばらしいみわざの条件です。

毒麦のたとえのように、この世はやがて必ずさばかれるときが来ます。いつまでも今の状態が続くような感覚にとらわれがちですが、世の終わりがあることを忘れないで、それが希望となるような生き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

